

防災通信

祝・ダブルエッチジャー防災新聞発行

ダブルエッチジャーの皆様、初めまして防災委員会です。防災委員会では昨年度の活動を踏まえて、今年度はより皆様の防災意識の向上に努めたいと考えており、このような新聞を発行していくことにしました。震災、コロナ等、大きな事柄から身近な話題まで幅広く取り上げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

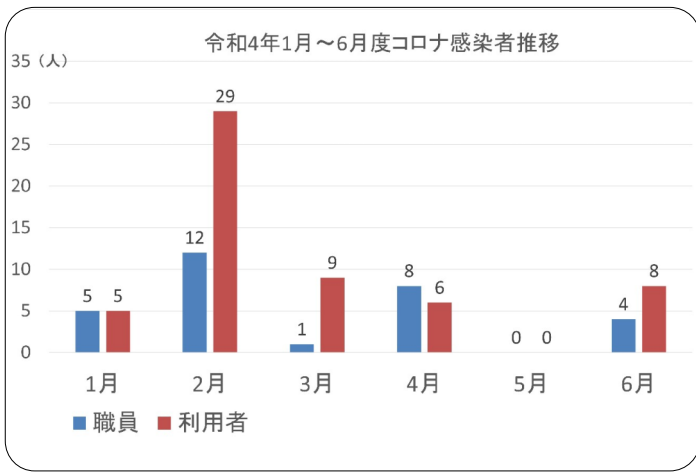
今回は初回と言う事で簡単に防災委員会の紹介をさせて頂こうと思っております。ダブルエッチジャー防災委員会は令和3年度の委員会編

成において発足され、有事の際に備え、各種BCP、マニュアルの作成や法人全体の防災意識の向上を目的に誕生しました。

ではここからは簡単に令和4年度の委員の紹介をさせて頂きます。下記に簡単ではありますが所属施設等を記載させて頂きましたので



力を合わせて皆さまの防災意識の向上に尽力いたします！！



新型コロナウイルス感染状況報告



何かあればお気軽にご連絡いただければ幸いです。

- ①委員長 フレンズ所属 松原圭一
- ②副委員長 ひまわりの家 すだちの丘所属 森下清子
- ③川ヒマワリ所属 加藤陽介
- ④支援センター所属 天木萌
- ⑤メビウス所属 関島優希
- ⑥メビウス所属 水野恵美
- ⑦ふれあいハウス所属 石川直樹
- ⑧メビア所属 菅野真弓



計8名

ここではダブルエッチジャーにおける令和4年1月度～6月度までのコロナウイルスの感染者数のご報告をさせて頂いていただきます。令和3年12月までは全国的に感染者数は増加していたものの何とか法人内には感染者は出ておりませんでした。しかし年が明けた早々、半田地区で最初の感染報告があり、2月に入ると一気にピークを迎え、半田、碧南、名古屋の殆どの施設で感染の報告がされるようになってしまいました。その後は3月、4

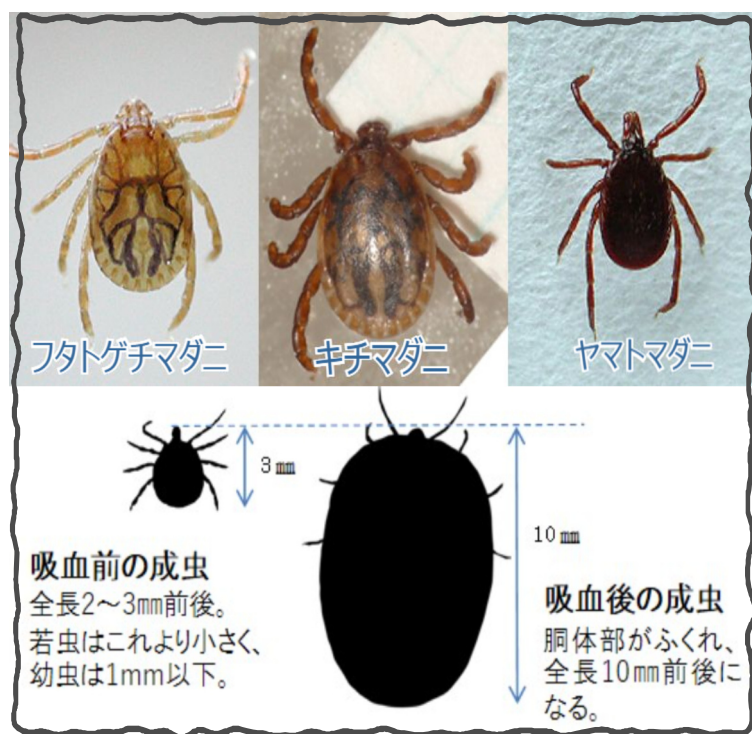
月と一定の感染報告がありました。2月度のように各地で爆発的に感染者がでるようなことは無くなり、少し落ち着いた感がありました。さらに5月に至っては、法人内感染者数も0となり、全国的にもまだ感染者はでていないものの旅行やイベント等も少しずつ解禁されるようになってきました。そしてこのまま落ち着きを取り戻すかと思われた矢先、6月に入って法人内にて再び感染者報告が上がり、まだまだ油断できない状態であることが再認識されました。この半年間、このようにコロナの動きをみさせていただく中で感じたことは、やはり各施設のコロナに対しての対応力を強さです。最初は大きな戸惑いの中で対応したとは思いますが経験を積み団結することでより強固な対応力が身につけていると感じました。まだまだ安心こそできませんが皆さまの力で乗り越えられると信じています。(松原)

マダニに「注意を」

防災委員会より災害
感染症に関してのお知
らせ。

みなさん日々の業務お
疲れ様です。防災委員
の石川、菅野です。

今回は災害、感染症に
ついでの記事をまとめ、
皆さんに周知していき
たいと思います。
昨今では感染症と言え
ばコロナですが、コロ



ナの際に隠れている身
近なマダニによる感染
症、「重症熱性血小板
減少症候群」通称「S
FTS」についてまとめ
てみたいと思います。

まず感染するとうな
るのか：致死率6%、
30%です。おこわ。
最初は発熱、節々の痛
み、吐き気、腹痛、風
邪やインフルエンザ。

またでコロナの様な症
状が起こります。そし
て治療薬もなく、予防
薬もないとのこと。さ
らに人間だけではなく、
犬や猫などのペットに
も感染するので散歩な
どに出かけ、ペットに
感染し、そして飼い主
さんへ。という感染経
路もあるそうです。
自然の多い場所に生

息してはいますが、野山
やキャンプ場など以外
にも、マダニはその辺
の公園やあぜ道でも確
認されており、碧南市
では公園の入り口に注
意喚起のポスターなど
を見かけることもあり
ます。小さいお子さん
などいらっしやる方は
公園遊びをする際にも
気をつけてください。

ダニですが目に見える
サイズ（3ミリ）との
こと。吸血後は2cm
にもなるそうです。
うちの子も変な虫捕ま
えるし、マダニゲット
だせ！とかね、危ない
ですから。

被害に合わない為には
肌を露出しない、人
体用虫よけ剤を使用す
る、ですが、虫よけ剤
はムラなく塗って下さ
い。塗りムラがあると
そこにピンポイントで
来るそうです。あとは
ペットの散歩から帰っ
たらマダニがついてい
ないかチェックしまし
ょう。

へ駆け込んで下さい。
想像するとそんな冷静
に行けるかな？いやま
ず取っちゃんと思っ
て、この記事を思い出
して我慢して！

マダニは秋がもつと
も活発に活動する時期
だそうです。これから
梅雨に入り、真夏が終
わり、過ごしやすくな
る頃ですね。コロナも
もちろん油断できませ
んが、我々の生活の中
には様々な危険が潜ん
でいます。もうずっと
家で引きこもりたいで
す。最後まで読んで頂
きありがとうございます。
（石川・菅野）

ダブルエッチジャー
皆様はじめまして。防
災委員会の関島、天木、
水野です。私たちのチー
ムは大災害時の現状を
事業所や障がい者の方
に焦点を当てて調べて
みました。

では実際に震災にあっ
た時に障がい者サービ
ス事業所、障がい者の方
たちはどのような状況
にいたのか。実際に異
なる時間帯に発生した
東日本大震災と熊本地
震を例に挙げてみます。

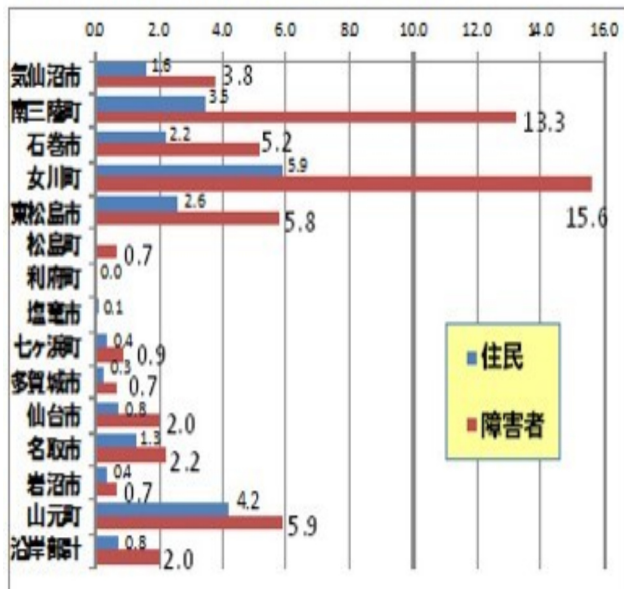
大震災と障害福祉サービス

東日本大震災では14
時46分と日中に震災
があったため、多くの
福祉施設は利用者が来
所しておりそのまま福
祉避難所となりました
（ならざるを得なかつ
た）一方熊本地震の際
は21時26分の夜間
に地震が発生しており、
デイサービスの利用者
は自宅やのちに帰って
いたので地域の一般避
難所へ避難しました。

トイレの有無、健常者
とのトラブルなど様々
な理由から避難所を継
続利用していくことが
難しく、障害者の方は
全壊・半壊判定を受け
ても家に残ることが多
かった様です。このよ
うに震災の起こる時間
帯や季節によって避難
状況や環境はガラリと
変わってしまいます。

東日本大震災、熊本地
震ともにサービス事業
所が福祉避難所と指定
されています。建物の
倒壊や人員不足等の理
由により開所できたの
は約半数ほどと言われ
ており、多くの障がい
者の方は行き場に困っ
ていました。実際に障
がい者の方の死亡率は
健常者の2倍ほどの数
値となっています（図
1参照）またケアマネ、
相談員などは自分の家
族が津波に流されてい
ても利用者さんの生存
確認に行ったりと職務
に追われており、私た
ちの仕事は震災時に
いて家族はもちろんの
こと、利用者のことも

●沿岸部自治体における住民と障害者死亡率



※図1 東日本大震災における住民、障害者死亡率

東日本大震災、熊本地
震ともにサービス事業
所が福祉避難所と指定
されています。建物の
倒壊や人員不足等の理
由により開所できたの
は約半数ほどと言われ
ており、多くの障がい
者の方は行き場に困っ
ていました。実際に障
がい者の方の死亡率は
健常者の2倍ほどの数
値となっています（図
1参照）またケアマネ、
相談員などは自分の家
族が津波に流されてい
ても利用者さんの生存
確認に行ったりと職務
に追われており、私た
ちの仕事は震災時に
いて家族はもちろんの
こと、利用者のことも

気がかけなければいけない職業です。そのことを頭の片隅に入れておいていただけると幸いです。(関島、天木、水野)

注目作品

お知らせ

今回の記事に関連しましてもっと震災時における障害者の現状を知りたい方がいましたら左のようなドキュメンタリーも作られています。

この作品は東日本大震災時の障害者の現状を生々の声で伝える貴重な資料となっています。

ご興味のある方は現物を所持しておりますのでお気軽に各防災委員までご連絡下さい。



逃げ遅れる人々
東日本大震災と障害者

逃げ遅れる人々

東日本大震災と障害者



あの日から、私たちに何があったのかー



障害があるということは、災害時には普段以上のハンディとなる。

2011年3月11日の東日本大震災、未曾有の大災害の中、障害を持つ人々に何が起きたのか？福島県を中心に、被災した障害者とそこに残る人々の証言を尋ねた。言葉のよえに、地震や津波から身を守れず、また必要な情報も得られない…。「ここではとても生活できない」「周囲に迷惑をかけるから」と、多くの障害者が避難をあきらめざるを得なかった。そうしたなかで避難所に入った障害者を待ち構えていたのは…。

更には仮設住宅へ入居しても、そこでも大きな不自由が待っていた。

原身事故による住民の姿が消えた避難区域には、取り残された障害者が不安な日々を送っていた。大震災に直面される障害者と、その実態調査・支援に奔走する人々の、困難の日々。住み慣れた土地を忘れ、避難先で新たな生活を模索する時、涙とともに故郷への思いがあらわれる。

被災地の障害者を取り巻くさまざまな課題や問題を浮かび上がらせる。

マスメディアでは断片的にしか取り上げられない、被災地の障害者のさまざまな現状に迫る。

逃げ遅れる人々
東日本大震災と障害者

監督：飯田基晴
製作：東北関東大震災障害者救援本部
撮影：飯田基晴、沢野大祐
編集：アレークシヤン、飯田基晴
制作：映像グループ・プロジェクト

※一般価格：3,000円(税込) ※団体・ライブラリー価格(上掲価格)：10,000円(税込)

DVD発売：東北関東大震災障害者救援本部・東京事務所 〒112-0046 東京都八王子市神楽坂4-11-11-1F
〒112-0046 全額自立生活センター協議会(丸の内) 電話：042-631-6620 FAX：042-660-7746
E-mail: yuenhoribai@gmail.com 作品URL: http://www.jp.jgimovie/

©2012年 | 日本映画 | 2012年 | 112分 | カラー | 音声：日本語 | 字幕：日本語 | 音声：日本語 | 字幕：日本語 | 音声：日本語 | 字幕：日本語



監督：飯田基晴 『あしからん』『犬と猫と人間と』 製作：東北関東大震災障害者救援本部



委員長のオススメ!!
~防災アプリ編~

ダブルエッチジューの皆様こんにちは。
防災委員会委員長の松原です!!
このコーナーでは毎回、私自身がこれまで見たり聴いたり体験した事の中でこれはいいと思う素材を紹介していくコーナーです。
記念すべき第1回目は防災アプリの紹介です。
では第1回目スタート!!

皆様は普段スマホを利用している方が多いと思いますがスマホにどんなアプリを入れてありますか？ゲームや音楽、お店のアプリ等アプリ種類は様々だとは思いますがアプリの中には防災アプリというものも多数存在します。
そんな中で今回は初回と言う事でまずは気軽に誰でも試せるように無料防災アプリを2つほど紹介していきたいと思っております。
無料と言えども必要な機能バッチリ備えていますので試しに入れておいても損は無いですよ。

おすすめアプリその①

名称：Yahoo! 防災速報
対応OS：iOS、Android



事前に登録した地域の防災情報だけではなく、ゲリラ豪雨情報や熱中症情報まで幅広くプッシュ通知してくれます。最近では地域の雨の情報が多かったのが今はまだ降っていないながらもこのアプリの通知でこの後降ってくるのがある程度分かるので普段使いとしても非常に重宝しています。
その他、各種警報情報や地震アラート等オールマイティーな機能を兼ね備えていますので入れておけば必ず役に立つと思います。

おすすめアプリその②

名称：防災情報 全国避難所ガイド
対応OS：iOS、Android



自治体が定めた避難所をオフラインでも地図上で再表示できるのが特徴の避難所安否情報検索アプリです。安否情報から避難所検索までスピーディに使えるのでいざという時の為にインストールしておいて損は無いです。

以上、今回は代表的なアプリを2つほど紹介させていただきましたがこの他にも災害関係のアプリは数多く存在します。ぜひ色々探してみてください自分に合ったアプリを見つけて下さい。皆さんの知識が広がっていく事が減災活動の第1歩だと思います。(松原)

～被災者に接する際にこころがけておきたいこと～その①／全3回

災害時には、生命や財産への対応とともに、『こころのケア』の視点がとても大切です。私たちが被災者に接する際にこころがけておきたいことを「愛知県精神保健福祉センター災害対応マニュアル」より一部抜粋して紹介します。

○被災地での対応のポイント

1 被災者が話したいことを相手のペースに任せてひたすら聴く。

- ① まず、体調等について声をかける。
- ② 共感する姿勢で、相手の気持ち、感情をあるがままに受け止める。
- ③ 無理に聞き出すことは避ける。
- ④ 安易な励まし、助言はしない。
- ⑤ ニーズを読み取る。

2 怒りへの対応

- ① 怒っている人は支援者を責めているわけではない。
- ② 非難や否定をしないで、感情を受け止める。
- ③ 感情のコントロールを失っている時は、話を中断することも必要。
- ④ 怒りを受け止めた後に、具体的に困っていることを聞く。

3 深い悲しみへの対応

- ① 寄り添ってゆっくり話を聞くことが大切。
- ② 被災者等の感情に巻き込まれ過ぎないように、一定の距離を保つ。

4 触れることは、恐怖、悲しみ、怒りを和らげる効果がある。

- ① 隣に座る、別れ際の握手、高齢者の肩を揉む、子どもを抱っこするなど。
- ② 身体的接触を嫌がる人もいる。人と場に応じた対応を考える。

5 必要に応じて専門家につなげる。

(例) 強度の不眠、強い緊張・興奮、幻覚・妄想、無表情、ストレスによる深刻な身体症状、自殺の恐れ、PTSDの症状が顕著

6 支援活動を毎日記録して引き継ぐ。7 チーム内で情報共有しつつ、プライバシー保護に配慮して活動する。8 他の援助チームとの情報交換を行う。

(「愛知県精神保健福祉センター災害対応マニュアル」より一部抜粋)

『こころのケア』と言うことは慎重に・・・

『カウンセリング』『メンタルヘルス』『トラウマ』『PTSD』などの専門用語や、『精神』や『こころの反応』という言葉に抵抗のある方も少なくありません。

『お話しする』『お手伝いする』などの日常の言葉を使いましょう。

次回 ～被災者に接する際にこころがけておきたいこと～その②は・・・
「こころのケア」に関わるボランティアの心構え です。(加藤・森下)

編集後記

ダブルエッチジエーの皆様、防災委員会の発行した新聞を読んでいただきありがとうございます。今回、防災委員会での新聞形式での啓発運動に至った経緯はやはり委員一人一人が防災という一つのテーマに対し様々な考えを持ち、それを共有し伝えていきたいという思いからでした。新聞の発行については記事の作成や構成など初めての事ばかりで色々戸惑いもありましたがこうして一つの形として発信出来たことは確かな充実感と自信に繋がりました。まだまだ内容的には未熟な面も多々ありますがこれから回を重ねることで少しずつレベルアップしていきます、皆様と一緒に防災力を蓄えていきたいと考えています。次回も色々な記事や企画を考えていますのでまたぜひ読んでいただければ幸いです。(松原)

